

# 事業評価シート（平成27年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	新港大浜アクセス道路整備事業		
事業担当	都市整備部 都市整備課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごころ〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'03	3 環境に配慮した都市基盤整備を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	住民・市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 ○企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
産業間連携のまちづくりが図られるよう、主要となる道路が整備されています。		新港背後地周辺へ市内外からの人を効果的に集客するため、高浜台交差点から新港へアクセスする道路整備を推進します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	道路整備の進捗率(平成27年度から)			単位	%
	説明・算定式	関係機関協議10%、設計協議10%、用地協議30%、工事50%				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標			10		
	実績			10		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
海岸エリア魅力アップチャレンジの一環として位置付けを行うため、新港周辺地区の方向性について、庁内関係部署と調整を図りました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	集客を図るための道路整備だけではなく、都市施設が未整備な地区における環境改善や減災機能の向上を図るため、早期に幹線道路の整備を進める必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	海岸エリア魅力アップチャレンジの一環として、新港背後地へ市内外からの人を効率的に集客することができることから、地元の水産業を基本とした産業間連携の取り組みを進めることができます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	都市施設が未整備な地区において、骨格となる公共施設の整備に取り組みます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	早期に実現できる事業手法を選択し、段階的に都市施設を整備していきます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 当該地が行政財産である国有地であることから、土地使用するの制約について財産管理者と協議するとともに、道路の安全性について交通管理者と協議が必要となります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容				関係機関協議
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0
執行率 (%)		—	—	—

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成29年度の取組方針</b> 道路の区域を決定するため、国有地管理者や交通管理者などと協議します。
<b>課長コメント</b> 海岸エリア魅力アップチャレンジにおける他事業との連携を図り、アクセス道路の整備について、関係部署や関係機関と協議していく必要があります。